

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果  
(保育所等)

## 1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人 人材パワーアップセンター
所 在 地	千葉県松戸市稗台7-12-6 コートルピナス102
評価実施期間	令和7年5月7日～令和7年12月26日

## 2 受審事：人材の確保・養成

### (1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	柏市立富勢保育園 カシワシリットミセホイクエン		
所 在 地	〒277-0825 千葉県柏市布施834-1		
交 通 手 段	ＪＲ柏駅から東武バス「布施」または「三井団地」行きバス 富勢出張所前下車徒歩1分		
電 話	04-7131-0012	F A X	04-7134-4700
ホームページ	<a href="https://www.city.kashiwa.lg.jp">https://www.city.kashiwa.lg.jp</a>		
経 営 法 人	柏市役所		
開設年月日	昭和34年4月		
併設しているサービス	あかちゃんほっとステーション設置，AED設置施設		

(2) サービス内容

対象地域	千葉県柏市								
定 員	0歳児	1 歳児	2 歳児	3歳児	4歳児	5 歳児	合計		
	6	15	18	22	26	28	115		
敷地面積	2,324,00㎡			保育面積			1199,10㎡		
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育		夜間保育		
	休日保育		病後児保育		医療ケア児保育		子育て支援		
健康管理	嘱託医による内科健診，歯科健診，身体測定（毎月），尿検査（4・5歳児） 視力検査（3・4・5歳児），健康・衛生指導 他								
食事	自園調理による給食，アレルギー除去食対応								
利用時間	午前7時から午後7時まで								
休 日	日曜日，祝祭日，年末年始（12月29日から1月3日まで）								
地域との交流	園庭開放，育児講座，世代間交流，幼保こ小との連携，実習生の受け入れ 他								
保護者会活動	定期総会，役員会，園行事								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	28	14	42	巡回職員・委託職員含まず
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	30	3	1（巡回）	
	保健師	調理師	その他専門職員	
	0	5（委託）		
	子育て支援員	事務補助員	業務員	
	6	1	2	
	保育補助員			

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	柏市役所保育運営課入園担当へ郵送で申し込み	
申請窓口開設時間	月曜日から金曜日 午前8時30分から午後5時15分まで （祝祭日，年末年始を除く）	
申請時注意事項	柏市役所保育運営課入園担当までお問い合わせください	
サービス決定までの時間	入園申し込みスケジュールの結果回答予定日参照	
入所相談	柏市役所保育運営課，または各保育園にお問い合わせください 園見学も随時受け付けています	
利用代金	0歳児から2歳児：保護者が居住する市町村が定める利用料 3歳児から5歳児：無償化	
食事代金	3歳児から5歳児 6,000円/月（主食費：600円，副食費：5,400円）	
苦情対応	窓口設置	有
	第三者委員の設置	有

### 3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>【柏市立保育園の保育目標】 生きる力を持つ子ども</p> <p>【保育目標】 ・「笑い合い 認め合い 育ち合う」</p> <p>【保育方針】 ・戸外でのびのび遊び、よく食べてよく眠り健康な心と体を育てていきます。 ・いっぱい褒めて、自信に満ちた一人ひとりの笑顔が広がる保育を行います。 ・季節や行事などを五感で感じて楽しんだり自己表現できる子どもを育てていきます。 ・互いに認め合い、自分も友だちも大切にできる子どもを育てていきます。</p>
<p>特 徴</p>	<p>昭和34年に柏市で4番目に開園し、柏市布施の高台に位置し、のどかな自然に囲まれた環境にあります。平成10年に建て替えられた園舎は、アーチ型の屋根が特徴で、太陽の光が優しく差し込み木の温もりを感じます。「笑い合い 認め合い 育ち合う」を園目標として職員一同協力しながら、一人ひとりの気持ちに寄り添った保育を提供しています。四季折々の行事や豊かな経験と活動を通して、お子さんたちの健やかな成長を願って保育しています。看護師数名が常駐しており、医療的ケアの必要なお子さんの受け入れも行っています。</p>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の門を入るとすぐ、花壇の草花が迎えてくれます。親子でその植物の生長を楽しむ様子や背比べをして会話をする姿を職員が微笑ましく見つめています。玄関の中に入ると広い絵本コーナーがあり、季節に合わせて入れ替えを行いながらさまざまなジャンルの絵本が並んでいます。家庭でも楽しんでもらえるよう貸し出しも行っています。行事等の様子の写真も子どもの目線に掲示し、送迎の時間が保護者とお子さんの憩いの場になるよう園舎内外の環境を工夫しています。</li> <li>・天気の良い日は朝8時からと午後のおやつ後も園庭に出て、体を動かして遊んでいます。日頃から外遊びやリズムあそび等、体を動かす遊びを多く取り入れていることもあり、日々の遊びの中から自分の体をコントロールできるしなやかな体作りが、自然と身についています。</li> <li>・こどもの日、七夕、十五夜、クリスマス、節分、ひな祭り等、伝承行事の由来を知らせたり、こどもたちが興味・関心を持てるような工夫を凝らした集会や取り組みを実施しています。</li> <li>・幼児クラスを中心に異年齢児交流を行っています。3グループの縦割りグループでお店屋さんごっこや製作、おやつ会食等を楽しんでいます。異年齢児での活動を取り入れることで、こども同士の自然な関わりが増えたり、クラス担任だけでなく、職員皆でこどもたちを見守ることを大切にしています。</li> <li>・「また、明日ね」とこどもも大人も職員も保育園を利用する全ての人が保育園でのまた明日を楽しみにできるよう、職員一人ひとりが自分の役割を考えて自己研鑽に努めています。</li> </ul>

## 福祉サービス第三者評価総合コメント

<p>特に力を入れて取り組んでいること</p>
<p>1. 保育の質の向上に繋がる研修に力を入れています。</p> <p>柏市の研修とは別に園内保育研修会を年5回程度実施しています。今年度は職員が以前に受けた研修を参考に「こども理解について」をテーマに研修を行っています。保育の現場を動画で撮影し、その様子を職員6-7名の小グループで見て気づきを話し合っています。動画を見ることで、通常とは異なる視点での気づきがあり、保育の質の向上に繋がっています。グループのメンバーは毎回シャッフルし、どの職種の職員も意見が言いやすい環境を整えています。グループごとの論議内容を週案会議で職員に共有することで、こどもをより理解し、保育の質を高めることに繋がっています。</p>
<p>2. こどもと地域の人たちとの交流機会が広がっています。</p> <p>こどもたちが思いっきり体を動かして遊べるよう、園庭に出て過ごす時間を多く取り入れています。その様子を園の前を行き交う人たちが見守っています。また散歩に出かける公園（高野台・前原）、富勢グラウンド（ゲームなども行う）へ行く途中でも地域の人と元気に挨拶を交わしています。富勢地区に伝わる伝統行事「八朔相撲」に触れる機会があります。富勢ふるさと協議会との計画で、地域の人に来園してもらい、その際廻しと土俵を持ち込んでもらい、お話を聞いたり一緒に相撲大会を行う予定があります。</p>
<p>3. 医療的ケア児保育室があります。</p> <p>看護師が常駐し、医療的ケア児の対応を行っています。登園時に疾病に合った健康状態を看護師と担任で確認し、医師の診断書をもとに保育の受け入れを行っています。こどもたちは医療的ケアを行う時間以外は各クラスで過ごし、医療的ケアを行う時間に医療的ケア児保育室を訪れています。看護師は保育中のこどもの様子を観察するとともに、保育士とこどもの状況等を共有しています。医療的ケアについては、こどもの様子に合わせた細やかな対応を目指すとともに、ミスのないようダブルチェックするなどの対策を講じています。保育室内には救急要請・対応の手順書を掲示し、専用医療棚、シンク台、手洗い設備、非常時に持ち出す医療物品（バギーの中に収納）も備えています。</p>
<p>さらに取り組みが望まれるところ</p>
<p>1. 保護者からの意見・要望等への対応を他の保護者にも開示し、共有していくことに期待します。</p> <p>行事後アンケートや個別懇談会で保護者からの意見や要望を聞く機会を設け、こどもの保育環境の向上に繋がる意見については、積極的に取り入れて運営の改善を行っています。個人的な要望で対応できない場合は、園長から丁寧に対応できない理由を説明しています。現時点では意見・要望を集約したものは保護者に開示していませんが、他の保護者の意見やそれに対する園の姿勢や対応を知る機会になりますので、アンケートや意見を集約した結果をアプリ配信や玄関の掲示板を利用して、他の保護者にも開示し、共有していくことに期待します。</p>
<p>2. 新規採用職員が安心して保育に取り組める研修体制の更なる向上を期待します。</p> <p>新規採用職員には専任担当を配置し、柏市のトレーニングシートに沿って1年間の育成計画を作成し、OJTを行っています。新規採用職員は保育の実践に加え、職場や保護者との人間関係など新しい環境で多くの心理的負担を抱える場合もあります。職員が安心して保育に取り組めるよう、OJTの指導担当者とは別に、日々の園生活での悩みを相談できるメンター役を配置するなど、研修体制の更なる向上に期待します。</p>
<p>（評価を受けて、受審事業者の取り組み）</p>
<p>第三者評価を受けて、自園を見直し改めて学びなおす機会になりました。保護者からいただいたアンケート結果も全職員で共有し、日頃のコミュニケーションを大切にしながら、お子さんが安心して過ごせる保育園を目指します。</p> <p>さらなる取り組みとして、保護者からの意見・要望等への対応について真摯に受け止めるとともに、集約した結果等の開示、共有を検討していきます。また、新規採用職員の支援について、メンター役の配置も取り入れてみたいと思います。</p>

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目	
				☑実施数	☐未実施数
I	福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4	0
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	0
		2 計画の策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	7	0
		3 管理者の責任とリーダーシップ	4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4	0
		4 人材の確保・養成	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3	0
			6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7	0
			7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行き、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5	0
			8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4	0
			9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	5	0
II	適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3	0
			11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4	0
			12 利用者満足度の向上	4	0
			13 利用者意見の表明	4	0
		2 教育及び保育の質の確保	14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3	0
			15 提供する教育及び保育の標準化	4	0
		3 教育及び保育の開始・継続	16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2	0
			17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4	0
		4 子どもの発達支援	18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4	0
			19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	0
			20 項目別実施サービスの質	6	0
			21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0
			22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0
			23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0
			24 身近な自然や地域社会と関われるような取組みがなされている。	4	0
			25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6	0
			26 特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育が適切に行われている。	6	0
			27 保育時間の長い子どもに対して配慮がなされている。	4	0
			28 家庭との連携が十分図られている。	3	0
			29 地域社会との連携が十分図られている。	3	0
			30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。	3	0
		子どもの健康支援	31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3	0
			32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4	0
		食育の推進	33 食育の推進に努めている。	5	0
	5 安全管理	環境と衛生	34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3	0
		事故対策	35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4	0
		災害対策	36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6	0
	6 地域	地域子育て支援	37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5	0
計				159	0

## 項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 ☒整備や実行が記録等で確認できる。 ☐確認できない。

評価項目		標準項目	
1	理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
(自己評価コメント)			
柏市のホームページ(はぐはぐ柏)や園生活のしおりに添付している保育園ガイドに園目標、保育方針等を掲載しています。園舎に入っすぐのところに、園生活のしおり、重要事項説明書を掲示し、誰もが手に取って見られるようにしています。年度末には目標の達成状況等を振り返り、その結果を反映した次年度目標を作成しています。年度初めには、新メンバーでの職員会議で再度課題や目標の確認を行い、全職員に周知しています。方針は年間計画や月案計画、週案計画、日々の保育に取り込み、目標達成に向け日々振り返りを行い、職員間で共有しています。			
2	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
(評価コメント)			
入園前の保護者説明会にて、重要事項説明書(書面)とパワーポイントを使って、園長または副園長が保護者に説明しています。在園している保護者には、年初の懇談会で全体とクラス単位で直接説明しています。行事や日々の保育実践については職員間で話し合い、園だより、クラスだより、連絡帳、お知らせボード、アプリ配信を活用して、保護者に実践の様子を伝えています。また、アプリ配信した行事の様子写真は園舎入口のこどもの目線の位置にも掲示し、送迎時に写真を見ながら親子での会話に繋がるよう工夫しています。			
3	事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/>	中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	運営の透明性の確保に取り組んでいる。
		<input checked="" type="checkbox"/>	各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
<input checked="" type="checkbox"/>	年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。		
(評価コメント)			
柏市立保育園の保育目標「生きる力を持つ子ども」を基に、園目標として「笑い合い 認め合い 育ち合う」の基本理念・方針を設定しています。それを基に年齢に応じた年間目標、月案、週案を作成し、日々の実践結果と自己評価を日誌に記載しています。行事等の計画、自己評価結果は職員会議や会議録にて園長、副園長、その他の全職員が共有できるようにしています。子ども、保護者、職員など保育に関わる全ての人が明日を楽しみにできるよう「また、明日ね」を今年度の保育目標とし、全職員が個々に課題設定をして取り組んでいます。副園長が一人ひとりの職員と期首・期中・期末等に面談し、目標の実施状況の把握、目標の見直し等を行っています。			
4	理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
(評価コメント)			
定期的な園内保育研修会や月1回のクラス会議だけでなく、乳児組、幼児組、クラスリーダー会議を必要に応じて行い、振り返りの結果や認識した課題解決のため、知識・技術の向上に取り組むことで、職員の意欲向上や自信に繋がっています。会議のテーマは事前に職員に伝え、自分の意見を持って会議に参加できるようにしています。園長、副園長はクラスの保育に積極的に入り、クラスのこどもたちの状況を把握・共有し、職場の人間関係も含めて把握に努めるとともに、各職員の発案や意見を尊重し、自主的な創意・工夫を実現できるよう支援しています。保育参観の運営を職員の提案で見直し、分野別の保育リーダーのもと、会計年度任用職員を含む各保育士の役割や仕事を保護者が直接見られる運営に変更した結果、保護者の安心と職員の自信につながった事例もあります。			
5	全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/>	遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
(評価コメント)			
職員が遵守すべき倫理に関しては、職員に配布している「柏市職員倫理規程」に明文化されています。また、正規職員に対しては柏市の人事課が入庁時から年数に応じた研修を用意しています。会計年度任用職員に対しては、入職時に「会計年度任用職員保育マニュアル」を見ながら園長が説明をしています。プライバシー保護については、日々の園生活の中で意識することを大切に、その都度確認しながら職員への周知を図っています。法令違反等の通知・相談窓口についても、職員に周知しています。			

6	事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	日常の援助では、個人の意思を尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。

(評価コメント)

保育計画・日誌・報告書等々の作成では、タブレット入力やパソコンを活用し、ICT化を促進しています。園生活の可視化としては、行事の様子や感染症の状況をアプリ配信しています。会議運営では事前に議題を入力したものを出席者に配布し、読み込んでから会議に参加することにより、時間の有効活用と簡素化を図っています。毎月のシフトは希望聴取後に園長が作成し、年休取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認しています。子育て支援員を採用することで、正規職員の負担緩和にも取り組んでいます。日頃から園長・副園長が保育室に入り職員のささやかな変化に気づく機会を設け、園長・副園長で情報共有して対応しています。また、事務室の扉や窓を常時開放することで、職員が相談しやすい環境づくりをしています。福利厚生事業については、正規職員は柏市のLINKから、会計年度任用職員は紙面でいつでも情報を確認できるようになっています。

(評価コメント)

柏市人事課や保育運営課、園長会議の方針を踏まえ、各園ごとに人材確保・定着・育成の目標を立て実行しています。保育運営課と園長会議で定めている「職務分担表」「柏市保育士に求められる能力」を正規職員、会計年度任用職員に文書で配付し明確にしています。評価は柏市人事課の作成した人事評価シートを使用し、評価補助者・評価者・調整者による段階的なプロセスで行う体制を整えています。正規職員に対しては課題設定時・期中・年度末の3回、評価補助者(副園長)による面談を行っています。評価補助者が適切な目標設定、目標の達成への助言、課題や評価結果をフィードバックすることで、職員の成長に繋がっています。会計年度任用職員については、評価者である園長が年2回の面談を実施し、振り返りや意識向上を図っています。

(評価コメント)

柏市人事課及び保育運営課が人事方針や職務権限規程の策定を行い、各園の状況を踏まえて計画的に人材確保に取り組んでいます。毎年柏市主催、柏市民間園共催で「柏市合同就職説明会」を開催し、人材確保に努めています。入職してからは「柏市研修体系」のもと園内外の研修に参加することによって育成を実践しています。園内保育研修会では、今年度は「子ども理解について」をテーマに少人数のグループにて話し合い、職員会議等で共有しています。

(評価コメント)

柏市人事課が策定した中長期的な人材育成計画で、職務や役割別に能力基準が明示されており、職員が成長できる研修等の育成体制が整備されています。専門分野での研修は、保育運営課や千葉県保育士会東葛支会などと連携し、危機管理・自己評価・人権・保育実践といった幅広いテーマの研修に参加できる体制が整っています。研修への参加は、本人の希望や勤務年数・期待する役割などを勘案し、園長・副園長で参加者を割り振っています。研修の内容は報告書や会議での報告にて職員間で共有しています。新規採用職員には専任担当が一年間、柏市のトレーニングシートを活用して実践的な指導・育成を行っています。また、柏市人事課では専任担当者にも研修を行い、両者の育成に力を入れています。

(評価コメント)

年に2回、全国保育士会「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を活用した自己評価を各自が行っています。その結果を職員間で共有し、園として意識して取り組むべきところを理解して保育にあたることで、園の質の向上に繋がっています。今年度は「子どもが快適に過ごすための環境を整えている」という点を振り返り、子どもが自分で玩具を取り出せるよう棚を工夫した例もあります。柏市の副園長会で作成した「ユール」(柏市保育応援BOOK)を活用し、クラス会議で話し合う等、個人の保育の見直しを実践しています。各クラスは日々の振り返りを担任間で言い、共有しています。また、課題は各クラスに留まらないよう、過半数会議等で園全体で共有しています。こどもの最善の利益のために、年齢・経験に関係なく互いに言い合える関係づくりに努めています。



11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の利用目的を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント)			
個人情報保護に関する方針は市のホームページに記載しているほか、「柏市立保育園重要事項説明書」にも明記されており、誰もが見られるように玄関にも掲示しています。入園時に「個人情報保護方針と個人情報に関する同意書」を保護者に手渡し、個人情報の利用目的や提供について説明を行い、同意の署名を得ています。アプリやドキュメンテーションにこどもの写真を掲載することの可否についても、保護者の了承を取り付けています。また、職員には、「柏市職員倫理規程」「会計年度任用職員保育マニュアル」、実習生に対しては「実習生受け入れマニュアル」を使用し、受け入れ時に守秘義務の重要性を伝えています。個人情報は最適な場所に保管、管理しています。			
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント)			
送迎時や連絡帳で園での様子を保護者に伝えるなど、コミュニケーションを大切にしています。クラス担任だけでなく、子育て支援員や業務員などすべての職員がこどもと保護者に挨拶や声をかけをし、園での様子を伝えたり、要望や意見を言いやすい雰囲気づくりを心がけています。要望や課題があった時は職員間で共有し話し合い、速やかに対応しています。運動会やお楽しみ会後はアンケートを実施し、保護者の感想や要望を把握しています。昨年度の運動会後のアンケートで保護者の観覧スペース運営の改善要望があり、今年度は運営を改善することができました。クラスごとにクラス懇談会、個別懇談会の機会を設け、保護者の思いの把握に努め、報告書として記録しています。			
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント)			
「柏市立保育園重要事項説明書」や「園生活のしおり」「保育園ガイド」に、相談、苦情等対応窓口及び担当者を明記しています。保護者には入園時に資料に沿って説明し、周知しています。園の玄関にはサービス向上委員の氏名と連絡先を明記して掲示しています。相談や苦情は窓口の担当者が、クラス担任が受けた相談等を含めて記録・管理し、組織的に問題点の改善に努めています。			
14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント)			
年間計画、月間指導計画及び日誌のそれぞれに自己評価を記載する欄があり、定期的に評価を記載しています。日誌を6つの視点で記載することで、こどもが成長する姿を捉え、保育を振り返り、より良い保育へと繋げられるよう、PDCAサイクルを構築しています。園の自己評価(夢プラン)を年2回行い、その結果は園長会議で市の保育運営課の専門職や他の保育園と共有しています。今年度は第三者評価を受審し、評価結果を公表する予定です。			
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的に実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント)			
業務の基本や手順に関する基本的なマニュアルは、「柏市マニュアル一覧」として項目ごとに整備されています。マニュアルは事務室内に整備し、必要に応じて職員が閲覧できるようにしています。副園長会が中心となって作成した「エール」(柏市保育応援BOOK)を新規採用職員を含めた職員の日々の保育の振り返りに活用しています。マニュアルの見直しは保育を取り巻く社会情勢等の変化に応じて、保育の質の向上をめざして職員の参画のもと行っています。			
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント)			
保育園利用に関する情報は、柏市のホームページ(はぐはぐ柏)に掲載し、保育運営課の窓口にも掲示しています。園では見学の受付を随時行い、こどもの入園希望時期や年齢に合わせて対応しています。また、次年度4月からの入園希望者向けの見学会を開催し、園長、副園長が「保育園紹介」を配付し説明しながら園内を案内するとともに、見学者からの質問に対応しています。なお、新年度に向けての見学会は保護者が参加しやすいよう、平日2回と土曜日の3回開催しています。			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント)			
入園説明会時に「柏市立保育園重要事項説明書」や「園生活のしおり」に沿って動画等で説明しています。また、帽子や布団などの持ち物は実物を見せるなどして保護者にわかりやすい説明に努めています。説明後に項目ごとに理解が得られたことを確認した上で、「同意書兼申込書」に署名を得ています。入園面接は、園長・副園長が説明し、看護師とクラス担任が、保護者の意向やこどもの成長に関する情報を確認し、記録に残しています。毎年4月の第一回保育懇談会で、園長・クラス担任から改めて保育目標・保育方針について保護者に説明し、新年度に保育方針を共有しています。			



18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
(評価コメント)			
全体的な計画は、柏市保育理念を基に保育所保育指針「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」等の趣旨を捉えて、柏市で統一して作成しています。それを基にこどもを取り巻く環境や地域の実態を考慮し、園独自の目標・保育方針を作成しています。各年齢ごとの計画はこどもの現状を踏まえて、前年度のうちに計画の振り返りを反映して作成しています。これにより、新年度にスムーズに進級後の実践ができるように対応しています。なお、地域の情報は幼保こ小との連絡協議会、地域の「協議会だより」にて把握に努めています。			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント)			
全体的な計画に基づき、年間指導計画、月間指導計画、食育計画を作成しています。0～2歳児は個別に毎月ごとの計画、2～5歳児は年齢ごとの週案を作成しています。支援が必要なこどもに対しては、個別に3期に分かれた指導計画を担当するクラスの担任間で話し合って作成しています。各計画は、期ごとに担任間で振り返り、今年度は「こどもが快適に過ごすための環境を整えるという」という視点で保育の実践を見直しました。0歳児クラスではこどもが好きな玩具を自分で出せるように棚を工夫、2歳児クラスでは押し入れを活用し、子どもが遊びたくなるスペースを作ることを実施済みです。			
20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	好きな遊びができる場所が用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。		
(評価コメント)			
各年齢ごとの興味や発達に応じた玩具や遊具を自由に選んで遊べるよう、こどもが取り出せる位置に配置しています。やりたい遊びが楽しめるよう遊びごとのコーナーを手作りパーテーションで仕切り、テーブル上ではパズルやお絵かきなど個々の遊びの確保にも配慮しています。幼児クラスでは行事・トラブル解決・集団ルールなどのテーマを持った話し合いを、円形に並べた椅子に座り、顔を見ながら自分の意見や気持ちを伝えたり、友だちの思いにも耳を傾ける経験を重ねています。5歳児は空き箱などの廃材を自由に使い、発想豊かに作品作りをしています。こどもたちは日頃からやりたいことを担任や周りの保育士に言えるように、また保育士はそれを認めてそつと後押ししてくれる雰囲気づくりに努めています。			
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
こどもの月齢や発達段階、その日の体調、各家庭での生活リズムを考慮し、こどもが安心して健やかに過ごせるように、食事と遊びのスペースを分けて保育しています。保育士はこどもが喃語を発している時や泣いて思いを伝えている時など、嬉しい、不快などの表情に気づき、「○○だったね」と応答的な対応を心がけています。保護者にとっても初めての保育園生活の不安を考慮し、こどもの生育歴や発達過程などを担任間で情報共有し、信頼関係を築くために、親子のささいな表情の変化に気づいて声をかけるなどの保護者支援に努めています。			
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周囲の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
集団の中で基本的な生活習慣(着替え、食事、排泄など)を身に付ける中で、こどもが自分でやりたい気持ちを大切に、また保育士との一对一の関わりで見守る・待つことも大切にして過ごしています。周りのこどもと言葉でのやり取りがまだ難しい場合は、互いの思いを保育士が代弁し、気付いていけるように丁寧に伝えています。保護者の思い(イヤイヤ期のこどもに対して)を考慮した上で、こどもの生育歴や発達過程などを担任間で情報共有し、親子の些細な変化にも気付いて声かけをし、信頼関係作りに努めるなどの保護者支援につなげています。			

23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	他の子どもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの興味や関心を引き出すことができるよう、子どもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子ども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
基本的な生活習慣が身に付き、自分でできることに自信が持てるような経験を日々の活動の中で重ねていくように支援しています。各年齢に応じた環境設定を行い、子どもの興味や発想が広がるような素材・用具を用意し、使うルールを一緒に考え 配置しています。複数のクラスと一緒に散歩(富勢グラウンド)に行ったり、大きな行事の運動会やお楽しみ会の経験などで子ども同士の多様な関わりがあります。送迎の際、玄関先のクラスの掲示板を活用して園での様子を伝えたり、難しい場合は連絡帳を通して園と保護者との連携を図っています。子ども一人ひとりの生育歴や発達過程などは発達経過記録(年4回 記入)を通して担任間で情報共有しています。			
24	身近な自然や地域社会と関われるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	季節や時期、子どもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
(評価コメント)			
生き物の飼育(メダカ、カイコ、カメ、カブトムシ、クワガタ)や観察をした後は絵画表現や製作に活かしています。春になす・オクラ苗(3歳児)、ひまわり種・ピーマン・さつま苗(4歳児)、すいか・苗・コスモス・とうもろこし種(5歳児)を植え水やりや草抜きを通して、その生長を楽しんでいます。秋には柏市みどりの基金での体験講座で、たねだんご作り(4・5歳児)をして種まきをしました。近隣の公園への散歩の際、地域の人と元気に挨拶を交わす機会が多くあります。5歳児はバスを利用して、茨城県自然博物館や柏市のプラネタリウムに出かけるなどの社会体験の機会があります。季節の行事で、例えばお月見会では月のお話やお団子を実際に手作りして飾ることや伝承遊びの機会などを大切にしています。今年度初めての試みで、ふるさと協議会主催の地域の伝承(八朔相撲)に触れる機会があります。			
25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	子ども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、子ども達同士で解決するように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが役割を果たせるような取組みが行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	異年齢の子どもとの交流が行われている。
(評価コメント)			
子ども一人ひとりの個性を認めて、肯定的な言葉で話しかけるようにしています。子ども同士のトラブルがあった際は危険のないよう見守りつつ自ら解決できるよう、時に保育士が仲介し、お互いの思いに気付けるよう代弁して援助しています。集団遊びやドッジボール等々の遊びの中で、楽しく遊べるよう子ども自らルールや提案を挙げ、考える力を育むための機会を作ることで、子どもは自発性を発揮し友だちと協同で活動しています。3・4・5歳児クラスはお当番活動を通じて役割を果たし、友だちと協同して活動できる取り組みがあります。日常的に園庭・園外遊びや行事、おやつ会食などの機会に異年齢の子ども同士が交流しています。			
26	特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	子ども同士の関わりに対して配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
(評価コメント)			
特別な配慮の必要な子どもに対して「発達支援計画表」を作成し、サポート保育士も配置することで、子どもへのきめ細かい配慮と対応を行い、必要に応じて「発達支援記録」への記載もしています。柏市子ども発達支援センターによる巡回指導相談(年2回)を受け、子どもの普段の様子を見てもらい、対応方法などについて助言を得ています。また、今年度は保護者了承のもと、子どもが利用する療育機関の職員が来園し、保育・療育の互いの関わり方を学ぶ機会がありました。担当保育士は柏市子ども発達支援センターの研修にて、事前に提出した相談したい内容を共に学び共有できる機会があります。保護者に対しては日常的に園での様子を伝えたり、保育参観や個別面談を通して適切な情報を伝えています。			
27	保育時間の長い子どもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	担当職員の研修が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
(評価コメント)			
延長保育への引き継ぎ事項は各クラスごとの連絡ノートを活用し、早遅番対応 保育士、延長保育担当保育士が保護者へ口頭または書面で行っています。延長保育担当保育士は日中の担任と連携し、子どもが安心・安定して過ごせるよう職員配置人数だけでなく、子どもの状況や配慮の必要な子どもがいる場合に応じた職員の配置を工夫し、玩具も形状・種類にも配慮した入れ替えを行っています。担当職員は8月にマニュアルを活用しての研修を受けています。			

28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
(評価コメント)			
職員全員は保護者に対して送迎時の挨拶や声かけを行い、こどもの様子を伝えるなど丁寧なやり取りを心がけています。個別面談・保育参観・懇談会を定期的に実施し、保育園やこどもへの理解を深めてもらい、保護者が相談しやすい環境づくりを整えています。要望・相談があった際は、園長・副園長に伝え、記録に残して週案会議などで共有しています。祖父母の送迎で情報伝達が難しい場合は、直接保護者に電話することもあります。外国籍家庭については、翻訳アプリを活用したり必要に応じて個別の支援を行います。			
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などがを保育所等から小学校へ送付している。
(評価コメント)			
今年度は10月に近隣の小学校の町探検の体験学習(2年生)の受入れを行い、こどもたちとの交流がありました。12月に地域のふるさと協議会主催の「八朔相撲」を体験する予定があり、地域社会との様々な交流があります。5歳児は就学へのスムーズな移行ができるよう学校訪問(小学校の秋祭りに招待される)を予定しています。保育所児童保育要録は保護者了承のもと、地域の幼保こ小連絡協議会の場で直接小学校に手渡しをして引き継いでいます。遠方に就学する場合は郵送しています。			
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント)			
朝の受け入れ時の視診を重視し、こどもの表情・傷などが気になる時はその場で保護者に確認しています。また、担任は肌の状態にも留意し、着替え、おむつ交換時などに気付いた場合や、こどもの気になる発言があった際は、園長・副園長に報告しています。気付いた点を職員全体に共有した上で、決めつけではなく疑いがあるかどうかの目線を意識して保育にあたっています。被害が確認された場合の通報の義務について、全職員が理解しています。園長は毎年度初めの園長会議にてこども相談センターとの連携を確認し、職員会議にて報告しています。			
31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント)			
柏市公立保育園共通の年間保健計画に基づき、嘱託医による内科健診(年2回)、歯科健診(年1回)を実施し、看護師による毎月の身体測定、視力測定器による視力検査(幼児組)、尿検査(4・5歳児)を行い、検査結果を健康カードに記載して保護者の確認印を得ています。年度当初には、こどもの健康・発達状態について全職員が周知に努めています。登園時の視診を行い、保護者から口頭や連絡帳でこどもの体調を把握し、変化があった場合は園長、副園長、看護師と共有し、保健日誌、保育日誌に記録しています。全職員はSIDSに関する園内研修とプール前のAEDを学び、生活記録・睡眠チェック表に毎日記入しています。保護者に対しては、入園面接時にSIDSについて説明し、また玄関ホールと0・1・2歳クラスにポスターも掲示して情報共有しています。			
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント)			
こどもが体調不良になった場合は、保護者に連絡し受診を勧めたり、けがの場合は対応マニュアルに沿って応急処置をし、状況に応じて保護者に連絡し初回は担任が同行し、以降は保護者が受診しています。感染症発生時には発生状況を玄関ホールに掲示し、保護者に注意喚起をしています。アプリでも配信しています。感染拡大の際は必要に応じて嘱託医、保育運営課や保健所に連絡し指示に従っています。事務室内にベッドと医療棚を設置し、医薬品や必要物品を常備し管理しています。全職員が嘔吐処理研修(年1回)を受け、速やかに対応できるよう嘔吐処理セットを各クラスに準備しています。			

33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント)			
柏市年間食育計画表を基に月案にて食育に関する計画を位置づけ、クッキング保育評価会議にて自己評価を行い次の計画を立てています。 幼児組は畑で野菜を育てて収穫体験をしたり、5歳児は年4回のクッキング(じゃがバター、おにぎり、カレー、ピザ)を栄養士や調理員と交流しながら経験することで、食への興味・関心が高められるよう工夫しています。食物アレルギー児に対しては、医師の指示書のもと除去食で対応し、事務室、担任、調理員による目視確認のもと提供しています。事務連絡表での全職員への周知もしています。こどもが落ち着いて食事を楽しめるよう、献立のメニューを伝え食への興味が持てるようにしています。また、日中の遊びの充実を図り空腹感を経ての食への意欲を感じるよう工夫しています。			
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント)			
各保育室に温湿度計を置き、日除けの設置などでも室内の適切な環境保持に努めています。看護師による定期的(6・11月とクッキング前)な手洗い指導を行っています。具体的には手についているばい菌の話の紙芝居を活用し、手洗い後の汚れが残っているかを見る(ヨードチンキ使用)などです。送迎時の保護者や来園者にも手洗いの徹底を求めています。清掃業務(業務員、シルバー人材センター職員)は玩具やこどもの手の届く場所をすべて消毒し、室内外の衛生管理に努めています。			
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント)			
危機管理対策マニュアルをもとに「けが発生時対応、けいれん時の対応」フローチャートを作成し、事務室、各クラスに配置しすぐ活用できるようにしています。けがや事故が発生した際は事故報告書を作成し、原因の分析と改善を図り、職員で共有して再発防止に努めています。また、ヒヤリハットの報告についても、週案会議等で情報共有し、危機管理担当者を中心に集計を行い、傾向と対策を分析しその後の事故防止につなげています。設備・遊具の安全点検は職員2名ずつ交代で安全点検簿に記入し、危険箇所や不具合があった際は保育運営課と連携し修繕の対応をしています。年2回不審者対応訓練と行方不明児訓練(探索箇所 チェックリストの活用、LoGoチャットの運用)を実施し、安全対策を講じつつ施設の確認と窓の開閉工夫について職員全体が共有しています。			
36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント)			
「危機管理対策マニュアル」「火災、地震、風水害対応フローチャート」を事務室と各クラスに配置し、常に確認しています。毎月様々な状況を設定した避難訓練を行い、年2回柏市消防局と連携した総合訓練(消火・通報・花火指導など)を実施し、報告書を提出しています。防災週間中は備蓄品の展示や持ち出しグッズの紹介、保護者へのプリントの配布など行い、防災集会(幼児組)で防災クイズを楽しむなど災害対策意識の向上を図っています。大地震を想定した園児引き渡し訓練ではすすくメールを使い、災害用伝言ダイヤル(NTT)の利用体験も行います。			
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
園見学(随時及び11月に3日間)を希望する多くの親子から子育てなどの悩みや園生活について、また仕事復帰後の不安などの相談や質問を受けることで子育てニーズを把握しています。園庭開放(平日午前実施)や育児講座、クリスマス会などへの行事招待を実施し、育児相談を受けたり保護者同士の交流の場を設けています。玄関ホールにて地域の子育て支援情報(イベントポスター、チラシ、相談窓口の案内など)を提供し、在園児の保護者向けに給食の人気メニューのレシピや絵本の紹介をれんらくアプリ(わくわくだより)で配信したり、親子で楽しんでもらえるよう絵本の貸し出し(1冊ずつ3日間)を行っています。こどもたちは近隣の保育園とのスポーツ交流や、富勢ふるさと協議会との行事交流があります。実習生の受け入れもあります。			